

征服されざる人々 (1947)

UNCONQUERED

メディア 映画

ジャンル 西部劇

製作国 アメリカ

時間 146分

初公開日 1951/03/20

公開情報 セントラル

【解説】

丸木舟でヒロインと共に激流を下る主人公クーパーがなんと言ってもカッコよく、また、そのスペクタクル場面は今観ても大迫力の、巨匠デミルの大開拓劇（西部劇にはあらず）。けれど、1763年の独立前のアメリカでの、インディアンと白人の戦いを描く物語は、いかにも古臭い歴史観に凝り固まっており、手放しでは受け入れられず、また、デミルの演出も総体的には締まりなく、山場をつなぐ細部の工夫があまりに足りない。ビッツ砦の騎兵隊大尉クリス（クーパー）は、ヨーロッパから奴隷として送られたアビー（ゴダード）を見そめ、悪徳商人のガス（ダ・シルヴァ）から解放する。その腹いせにガスはインディアン（酋長グヤスタには怪優カーロフが扮している）たちをそそのかし、平和使節として訪れるクリスを襲わせる。難を逃れたクリスだが、やがて、アビーが彼らに捕らえられる。火刑に処される寸前という所で彼女を助け出すクリス。そして、先述の最大の見せ場となる。そして、無事、砦にたどり着いたクリスだったが、許可なく持ち場を離れたかどで軍法会議にかけられ、アビーの弁護で無罪となるが、その頃には砦にはインディアンたちの大襲撃が目前に迫っていた……。手際よく語れば一時間50分は切ったはずの、二時間半の大作である。

【クレジット】

監督	セシル・B・デミル	Cecil B. DeMille
製作	セシル・B・デミル	Cecil B. DeMille
原作	ネイル・H・スワンソン	Neil H. Swanson
脚本	フレドリック・M・フランク	Frederic M. Frank
	ジェシー・ラスキー・Jr	Jesse Lasky Jr.
	チャールズ・ベネット	Charles Bennett
撮影	レイ・レナハン	Ray Rennahan
特殊効果	ゴードン・ジェニングス	Gordon Jennings
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper
	ポーレット・ゴダード	Paulette Goddard
	ハワード・ダ・シルヴァ	Howard da Silva
	ボリス・カーロフ	Boris Karloff
	セシル・ケラウェイ	Cecil Kellaway
	ウォード・ボンド	Ward Bond
	キャサリン・デミル	Katherine de Mille
	C・オーブリー・スミス	C. Aubrey Smith
	ポーター・ホール	Porter Hall